常磐毎日新聞
日刊
夕刊 六月廿一日
定價 一部金五錢 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯印刷人 坂本忠治
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

興亞への進發七月七日！

支那事變滿三週年
意義深き記念日に
市民總動員の行事

來る七月七日支那事變勃發三周年を迎へる平市では當日を期して意義深き記念日たらしむべく、特に市內各官衙會社、銀行工場、各種團体その他中小學校學生々徒を總動員して支那事變一周年に賜はりたる勅語並に紀元二千六百年紀元節に賜はりたる詔書の捧讀式を行はしめ以て市民擧つて時局に對處し叡慮を安んじせしめる事になつた、先づその實行方法として

當日は一齊に國旗を掲揚せしめ正午を期してラヂオサイレンを合圖にそれぞれ在所において戰歿將士の英靈に對して追悼の默禱を捧げまた出征將士の武運長久を祈願し各官公署、學校、會社、銀行、工場にては記念式を擧行し前記勅語並に詔書の捧讀式を行ふ

尙當日は市民一同洩れなく傷病兵の慰問並に出征軍人遺家族の慰問或は勤勞奉仕、中等學校等においては模擬戰演習、武道大會、體力鍛錬、防空、防火訓練を行はしめる方針である、其他の行事としては當日を期して各種團体等に對しそれ〴〵申合せの機會を作り特に能率增進、增產獎勵、銃後援護、節米實施、貯蓄實行を强調し學生々徒には精神力を振起せしめる筈

產業報國會

植田署管內產業報國會未設置の三十工場は今度地域的に統合左記四方部每に報國會を結成することになつた

△上遠野、入遠野△植田、錦、田人一部△勿來△川部、旅人

郵便局窓口の時間短縮さる
每日午後三時まで

郵便局窓口の現金取扱ひが一時間短縮されます―平市內郵便局では本省の方針に基き從來午前八時から午後四時まで取扱つてゐた窓口の現金扱ひ即ち爲替、貯金、年金等の取扱ひを來る二十四日から午後三時までと繰上げしまた土曜日は正午までとすることになり、これが一般への周知のため目下看板、チラシ等の準備を行つてゐる

短縮の理由は窓口從事員の疲勞を輕くしようといふのがミソであるが一般利用者にとつては少々窮屈になる譯だ

入山青年校

既報去る一日開校式を擧行した湯本町私立入山青年學校は明後二十三日から授業を開始することになり入山小學校訓導の外炭礦側から敎練、職能科等各六名を任命したが授業は夜間を主として九時間宛

第一回收容生徒は二百名である

友の會の皆様へ（上）

國民精神總動員
福島縣本部參與　**阿部コト**

去る六月十四日午前十一時に精動福島縣本部の第一回役員會が開かれましたので、私も同日平發午前六時十二分にて出發しました、實は皆様も御存知の通り、私は生來訥辯にて他人様の前にて自分の考へて居る事を發表する事が出來ないのを甚だ遺憾と思つて居りましたが、最近友の會に入會させて戴きましてから、皆様の御鞭撻に依り精神的修養を幾分積みました結果、縣精動の各名流婦人に伍して一歩も退けをとつてはならぬと言ふ決心を起す事になりました、これも偏に皆様の御引立の賜であると深く感謝して居る次第で御座います

偶々先日金成様、松野尾様が中央友の會大會に御出席になられ松野尾様が平友の會の模様を御發表なされたとの事を拜聽致しましてから一層其感を深ふするものでありました

それで私も及ばず乍ら平市の婦人を代表致しまして、精動本部に出席する以上、何とかして常に考へて居る自分の私案を發表して、自分の職責を果したいと考へたので御座います

縣本部より前日に通知を受けて居りました協議課題は左の四項目でありました

一、戰時食糧報國運動の實施方策
二、貯蓄增加目標額一億三千萬圓達成に對する獎勵方策
三、金保有者に對する賣却獎勵方策
四、興亞奉公日の眞義に則せる實行方法

でありました、それで此の興亞奉公日の眞義に則せる實行方法を發表して見たいと決心致しまして出發前夜夕食をすませてより十時迄其の原案を考へました、御賢明なる皆様の前に誠に御恥づかしい私案で御座いますが、其日の模様を御報告旁々次に御披露申上げますからどうぞ御笑覽下さいませ、私が福島に着きました時は午前十時半、これより敎育會館迄時間の都合上直に參りまして丁度定刻十一時前に着きました

もう會場はすつかり整頓され會長席、理事席、參與席、幹事席とありました、何々參與席と机の前に銘々の大きな名札がはられてありました、私は阿部參與の名札がありましたから其席に着きました、縣本部の婦人參與は七名でありまして、其の日の婦人出席者の席順は一番上位に福島縣知事夫人橋本美彌子様、聯隊區司令官夫人福本君惠様、若松前市長夫人佐瀨吉子様大原病院長夫人大原りき様、其の次が私、前縣會副議長夫人田倉タケ様で御座いました

自動車疾走中
ドアが開いて
乘客轉げ出す

小名濱町古湊春吉さん妻大野一枝（三六）さんと四女の節子（四）ちやんは十九日午前七時五十分頃山形市宮町運轉手鈴木兵藏さん（三六）の運轉するハイヤーに乘り同町地內を疾走中ドアーが開いて二人とも轉落、節子さんは左下腿部に擦過傷、一枝さんは左手に打撲傷を負つた

路上に轉る繭
價格百廿圓

植田町字江畑日立電力從業員大平喜太郞（五〇）さんは十九日豊頃同字地內國道に棄てあつた白繭十貫五百匁在中の竹籠を發見植田署へ持參屆け出たが金額にして約百二十圓、運搬途中のトラックから震動でズリ落ちたものらしい

無免許罰金

平市田町自動車修繕工中川由太郞（三）は無免許で自動車を運轉したこと發覺この程平區から自動車取締令違反で略式罰金五十圓に處された

ソラ豆
强氣配
耕作者喜ぶ

（既報）郡南方部產出のソラ豆はいよ〳〵出廻り季に入り其後引續き中央市場へ出荷され錦もの五百九十九籠、入遠野もの百七十二籠は二十日取引されたが各市場の相場は左の如くいづれも强氣配を示し遂に七圓台を突破、生產者達を喜ばせてゐる

	高値	安値
△神田	六、五〇	四、〇〇
△築地	七、三〇	五、八〇
△荏原	六、〇〇	四、〇〇
△豊島	六、八〇	五、〇〇
△江原	六、五〇	五、〇〇

增產灰集め

渡邊村では全農家三百十餘戶にコンクリート製の〝灰集め器〟を設置し加里肥料不足を克服し增產報國に邁進することになつた

小兒科內科
酒井醫院
◎入院隨意（電話五五）
醫學博士酒井保
平市字南町

小名濱支局通信

立花君の近況

支局長　小野務平

立花雄七君があの魁偉な體格を以て病魔の爲めに約三ケ年に亘る鬪病は實に大義千萬として同情に堪へぬものがある、特に强を抑へて弱を助くる任俠、友交に厚く知己の爲めには水火も辭せぬ特性は萬人の畏敬する處であるが病魔には抗し難く遂に病褥に呻吟する事となつたのは、天は果して是か非かを疑はざるを得ないのである。

平病院に帝大阪に內科に殆ど物的には厭目なく手の續く限りは治療に專念して治癒に勉め先づ大丈夫と云ふので家鄕に靜養して居つたのであつた

元來君の營業は漁業である處から其仕事は復雜で家庭に在れば如何に吞氣屋でも口を出し手を動かす遂には喜怒の感情も働きかけると云ふ結果を產んで靜養すべき病軀の爲めには矢張り靜養萬點の個所とは言ひ得ない事は誰しも認むる處であつた。

君の病氣を根絕するには絕對的に生活圈內から遠かり仙人住居をして以て眞に治癒の大目的に副はざれば或は如何なる事變を醸すやも知るべからずとする說が最も有力で遂に君をして飽まで靜養專一に就かしむるの要ありとし、玆に場所の撰定をなすに至り、それにしては家庭を離れた閑靜の處、此れはどうしても豊間町望洋荘より外にないと云ふ事に一決して去月上旬望洋荘行きと決定したのであつた。

望洋荘は恩賜財團に依る靜養所で山復を切り開いた、千有餘坪の敷地を相し四圍綠樹を以て繞り一望太平洋を眺め其眺望佳絕の點は蓋し天下無類であらう、玆に望洋荘の名の起る所以で此の望洋荘に生活を移した君は全く俗界を離れた仙人生活を覺悟し只々病魔退治に餘念がないと云ふのが現在である。

實は一度君の近況を聞かんと訪問せんとして未だ果さず久潤を重ねて居るのを心苦し、思つて居る、何の日か親しく會合して積る友情を思ふ存分語りつくしたいと考へて居るが其事まだ到らずして只々君の快復を祈つて居るのであるが今は其機を待ち遠しく思ひ、此の一文を草して近況を訪ふ辭に代ゆる次第である

（完）

理髮料金引上げ
實情已むなしと認らる

平市理髮組合では資材値上り等を理由に料金五錢の引上げ方を陳情してゐたがこの程實情已むなきものと認められ一兩日中に正式指令に接することになつた、この結果皆一樣に四十五錢となる譯である

倉庫荒し常習
運轉手等の共謀餘罪
ガソ闇も發覺

既報泉驛構內丸通運送店倉庫の魚粕一千三百圓分を竊取した泉村瀧尻居住小名濱臨港鐵道會社自動車運轉手高木正義（二六）同助手小名濱町中明神町馬上勝見（三三）の兩名を檢擧した植田署では其後取調べ中意外にも大量のガソリン闇取引の事實を握りこの程關係者として同社運轉手小名濱町鈴木作太郞（三〇）同森濱同町自動車營業佐川茂（三七）同町オートバイ營業長瀬長壽（三三）等を檢擧したが

この運轉手等は競爭的に會社の倉庫內からドラム罐（時價四十圓）十六本その他貴重品一千四百圓分を盜み出し町內營業者に賣り飛ばしてゐたもので丸通運送及び臨港鐵道の被害は二千七百圓に達してゐる

情婦宅に潜伏

尙主犯高木は平市鎌田町元榮樓娼妓山口トミエ（二六）を情婦に持ち女の歡心を買はんがため惡事を續け情婦宅に潜伏中捕はれたものであるといふ

短靴泥棒
空の蟇口で
係官が苦笑

好間村大字上好間字山ノ神大瀧榮吾氏方炭礦坑夫大瀧作太郞（二九）は去る十六日午後八時頃平市白銀町松崎屋旅館こと松崎吉三郞さん方表玄關にあつた止宿人田中彰介氏の短靴一足（價格十五圓）を搔拂つたこと發覺、今二十一日平署に檢擧された、取調べの結果五月二十四日午後七時頃內鄕村大字一之坪料理店松月こと羽田百代さん方に登樓その歸途座敷の鏡臺抽斗にあつた酌婦布田アサヨさんの革蟇口を竊取したが暗がりで明けてみたら空ッポでしたと自白、係官を苦笑させてゐる

田人方部の各村
合併氣運濃度化

既報田人街路夫、貝泊、石住組合はかねて合併氣運が動いてゐたがいよ〳〵軌道に乘り三十日村當局者振興委員村內有力者が役場に集合合併促進協議會を開くことになつた

他人の山の立木
俺の物だと僞り
六百圓で賣飛す

仲間町日雇草野貞之助（六五）は目下詐欺並に森林竊盜罪で平署に檢擧され取調べを受けてゐるが同人は最近內鄕村綴草野ヒデヨさん所有の宮澤地內山林にある杉及び松立木百五十本を自分所有の如く裝ひ內鄕村大字綴字七反田材木商渡邊義雄氏に六百圓で賣拂つたものである

けふは一年中で
最も日の長い夏至

うだる夏もいよいよ本格的に今日二十一日は一年のうちで最も日の長い夏至だ、小名濱測候所に聞くと廿一日の夏至は水平線上日の出が午前四時十七分、日沒は午後七時三分であると

內地南方に又高氣壓が頑張り出したので當分暑さが續くであらう

體育指導
講習會開催

本縣下の體育指導者講習會は七月一日から三日間平商業學校において開催されることになつたが講師は厚省体育官栗木義彥氏で一般社會体育に關し指導する筈

平市人事

◎婚姻
△茨城縣那珂郡八里村大字入本鄕四一川野邊正（二九）氏と長橋町三六鈴木しづ（二七）さん

◎死亡
△仲間町五三クマさん夫今宮寬太郞（四八）氏
長橋町三一目下東京市荒川區日暮里町七ノ四二五鄰雄氏兄佐々木喜久藏（二九）氏
△紺屋町三六ふくさん娘長須しも（四九）さん

ラヂオ

今晚の部

▽後六、〇〇 子供の時間お話「雲の色々と天氣豫報」理學博士荒川秀俊
▽後七、二〇 鄕土に寄する（錄音）鄕土史研究家中村德重郞
▽後七、三〇 國民歌謠
▽後七、四〇 中支より
▽後八、〇〇 管絃樂 日本放送交響樂團（指揮）山田耕作
▽後八、三〇 連續物語（明治海將傳）「榎本武揚」阪東蓑助

明日の部

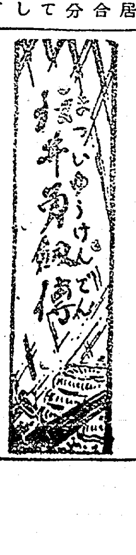
▽九、四五 幼兒の時間 唱歌劇「コウマのハナシ」仙臺市東二番丁小學校附設幼稚園兒（指導）高橋智子（伴奏）大場まさよ
▽前一〇、〇〇 衞生メモ 一、梅雨から夏への御注意 二、暑さに向つての入浴
▽前一〇、二〇 家庭の時間「長期の貯金、短期の貯金」膽出貞次
▽後〇、〇五 土曜コンサート 靑葉管絃樂團（指揮）安倍盛
▽後〇、三〇 東京大學野球聯盟春季試合實況：明治神宮外苑野球場より中繼
▽後一、一〇 第五回宮城縣女子中等學校聯合音樂會：宮城縣女子專門學校講堂より中繼 一、齊唱「傷痍の勇士」土岐善麿（詞）堀內敬三曲全員其他數種
▽後三、〇〇 婦人の時間「人造バターの話」白瀨潔
▽後五、三〇 洋樂鑑賞レコード（解說）相澤陸男
▽後六、〇〇 子供の時間 物語「中村將軍の最後」長沼依山
▽後六、二五 講演「日滿關係の今昔」杉村勇造
▽後七、二〇 鄕土に寄する言葉（錄音）聲樂家菊地章子
▽後七、三〇 國民歌謠
▽後七、四〇 子供と家庭の夕
▽後九、〇〇 連續物語 明治海將傳（二）「勝安房」菊地寬原作、坂東蓑助

輕油不足ナラ
◎◎洗滌油
專賣特許
千代田液洗油
御使用願ヒマス
自動車部分品、機械、活字インク、タール
食堂ノ皿デモ、ウエス再製デモ
油類なら何んでも綺麗に洗滌剝脫が出來ます
少量でも御屆致しますから是非一度御使用下さい
平市堂ノ前
淺野孝治商店
電（呼）四一番

歯科口腔外科
レントゲン科
院長 東京歯科醫學士 原精一
電話三一番
平市土橋通
原歯科醫院

初夏!!!
（とんかつ專門の店）
興亞の春を迎ひどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▽出前は迅速に御つとめ致します。
平市仲田町（電話四六五）
かの家
營業時間 自 午前十一時 至 午後十一時

割烹
花村
平市田町　電話四番



第百五回

元の奉公人へ

門人も大勢居りますから旦那それは無理でございませう[illegible]と云つて留めるのを無理に振切つて飛び出した、出るは出たもののさう何處へ行かうと云ふ當もない、傳と思ひ出したのは姬路の一膳飯屋町で口入稼業をして居る傳兵衛、傳兵衛は實母の在世當時まで永く奉公して居た男で親切な人間、那れへ寄つて頼んだならば何とか身の振方を付けて吳れるだらう、人間も困ると斯う宜い智慧が出るものだ、と明石を出で、ドン〳〵急いで姬路へ入つて來たのは正月二日の朝、懷中無一物だから途中で何も食べる事は出來ない、空腹を抱て漸う一膳飯屋町の傳兵衛の表へ來ると相當に生活を立てゝ居ると見えて家も立派だ 丹「ウーン、コレコレ」呶りながら入つて來て突然コレ〳〵と云つたから傳兵衛の女房驚を潰して見ると、身の丈五尺六七寸もある若い男が[illegible]の切れたのを穿いて眼を凹ませて立つて居る 女「何方からお出でなさいました」 丹「困るな傳兵衛は……」 女「宿はお年賀に本町まで參りました、モウ程なく戾りませう」 丹「さうか、ちア、俺は上るよ」 女「一寸お待ちなすつて、貴方は全體誰方樣でございます」 丹「明石の何んだ……ウーン何うも苦しい、何んだ傳兵衛に逢ひたいから明石から來たんだ、ウーン」 女「何うなさいました、お加減でも惡いのでございますか」 丹「さうぢやないが何にしても早く傳兵衛を呼んで吳れ、至急會はんければ成らんことがあつて來たお前は傳兵衛の家內か」 女「左樣で」 丹「[illegible]と云ふが傳兵衛は[illegible]だが貴樣も[illegible]い面をして困るな」 女「大きに憚り樣で」 丹「怒らんでも宜い、オヽ其處に餅があるな、それで宜いから燒いて吳れ、ナニ構はん今に傳兵衛が戾つて來れば分る、早くしろ愚圖々々すると離縁してしまふぞ」自分の女房のやうな積もりで居ります。何と云つても若旦那育ち、[illegible]もあれはとそ餅を燒かせて[illegible]に買つた砂糖の袋を破つてはそれを付けてムシヤ〳〵食べ始めた 丹「何うも腹の空つたと云ふことは苦しいものだ、モツト燒け〳〵モウ少し食べんと話が出來ん」食べて居る所へ傳兵衛が歸つて來た 丹「ヤア傳兵衛が戾つて來たか、何か旨いものを喰はせろ」 傳「オヤこれは若旦那樣ぢやございませんか」 丹「何を愚圖々々して居たんだ、[illegible]から待つてゐたんだ」 傳「それは誠にお待ち遠樣で……何だつて又突然にお出でなすつたんです。[illegible]そんなに腹を空らして……」 丹「いや[illegible]やつて了つた」 傳「やつてしまつたつて何をやつてしまつたんです」 丹「親父と喧嘩をして來たんだ」 傳「先生と、何でマア喧嘩などをなすつたんで……」 丹「イヤ俺も惡いが、お前も知つての通り俺の母親が死んだので後妻を迎へたおつねといつて那奴が頗る質の惡い奴で兎角俺を邪險扱ひに致した。舍弟の甚之助が生れてから甚之助へ家督を嗣がせたいといふので何時も俺に辛く當る又親父へは鬼や角と吹き込む親父が又那の邪で女房に甘いと來て困るから……[illegible]が附けられん那れが好きは[illegible]お前も察して女房に擽かれるな、他から見て困ると見苦しいからな」 傳「恐れ入りました、全體これから何うなさるお考へで」 丹「兵法だ、親類もないではないが親類へ泣き付くも殘念なる話し、身の上相談するものと云つては貴樣より外にない、それで貴樣を尋ねて來たが懷中無一物で飛び出して來たから腹が空つて目が眩むかと思つた、丁度此處に餅があつたから燒かせて食べたので漸つと人心地が附いたやうだ、ナニ遠慮するに及ばん」 傳「貴方が遠慮する奴があるもので、傳兵衛も一つ何うだ」 傳「[illegible]すか、然しまア私のやうなものでも頼りにしてよく訪ねて來て下さいました、オイお玉何か若旦那へ差上げろ」

家庭と女性

獨逸に學ぶべき事

ドイツ軍の勝利には、無論新武器の驚異を數へあげねばならない。しかしこれが全部であらうか。近頃、わが國民がドイツの新武器に異常な關心をもち出し、殺人光線だの、特殊猛力ガスだの、恐るべき火焔砲だの、日く何……、まるで科學小說もどきに猛烈な進撃、これでは戰術に強いのも當然だと歸納づけ、いはば歸納の態度をとつてゐる。新武器の前。日本人すらすでに負けた形だ。だが、日本人が負けたのではない——日本人の頭に巣食ふ物質主義乃至はゆい物思想が負けたのである。なぜに日本人には、ドイツ國家の一糸亂れぬ統制力と、ドイツ國民の激浪の如き闘志とが理解できないのか。ことほど左様に英國風に染まつて、物の考へ方が物質の世界を離れきれないのかこつそりいふが、ドイツの勝利は精神力であり、また烈々たる氣魄が巧に物質なり新武器を使ひこなしたことにあると共に如何に銃後の各家庭婦人が過去廿年に渉る長年の忍耐とその希ぐき心根を認め學ばねばならぬ。

藤本

……小ばなし……

「近頃、殺人事件が迷宮入りになつて、犯人の捕まらないのが大分あるね」

「なにしろ闇ばやりの世の中だからね」

學生生活を覗いて

親達に御注意

生活のみで七十五圓

鰻上りの食住費

東京の專門學校以上の學生の中地方出身者は十一萬人餘に上つて、親の膝下を離れて故郷からの送金で勉强してゐるのですがあたらしい生活に入り、都會の誘惑に陷つて、時々多少の不良學生が出て前途を誤つてゐるのは殘念なことで、その原因は宿所が不適當であつたり、送金額が必要以上に多く、浪費することから不良の道へ走つたりするのが主になつてゐます、といつて學資が不足しては又充分な勉强はできません、こゝに學生の親たちの惱みがあるわけで、このなやみ解決の一助にもと、最近の學生生活をのぞいて、親御さんへの報告文としませう

まづ、東京帝大、早稻田大學學生の昨年の生活調査を基にして標準と思はれる學資額をしらべて見ますと、昨年春の調査の頃から諸物價に大幅の値上りをしてゐるのに對して、學資の方は一般に値上增額されてゐないので學生生活は、相當窮屈であることは實際で、從來通りの限られた送金でやつていくため節約から娛樂を廢止してゐる學生も見受けられそれが相當な數に及んでゐるかと思へば、一方にはかなり贅澤な生活をしてゐる學生も亦多いのです

…三月前の調査　授業料、書籍代その他の學費はまづ別として、住居と食事の方面から見ますと、止宿代は、寄宿舍その他の寄宿舍にゐるものが、二食付で十七圓から最高廿五圓ですが、各寄宿舍のまかなひも物價騰貴で相當苦心をしてやつてゐるらしく、食費値上を行つた所もあつて、現在では最高二十七、八圓見當です

◎…素人下宿は、部屋も三疊から十二疊、或は二間つづきなどあり、食事も一食附、二食附、三食附などいろいろですが、一食附の最低十五圓・二食附は二十圓から四十圓まで

なかには三食つきで十四圓といつた安い所もありますがこれは例外です、大體六疊位で二食つきが學生として標準で、平均廿六、七圓、現在では三十圓前後でせう

◎…營業下宿は一食つきで大體十圓から二十二・三圓、二食つきで二十六、七圓から三十二・三圓が調査にあらはれてゐるところですが

…現在の調査は　下宿業者は新學年の學生のかはり目を機會に値上をしたり改築を名目に立退きを迫つたり、經營方針を變更してホテル式にしたといふ名目で大幅値上をするとか、その他、風呂の廢止、風呂錢の徵收、食費の値上など色々智慧をしぼつてゐますから

◎…下宿料は結局大體六疊二食つきで廿七、八圓から卅八、九圓といふ相場になつてをり、三十五圓位が標準でせう、この場合はその他雜費代が月額六圓から八圓かゝります

…學費七十五圓　さて、では學生の一ケ月の生活費はどれ位かと云へば東大の調査では十五圓未滿から百五十圓位もらつてゐる學生までありますが親戚知人の宅に身を寄せてゐる學生の平均額が四十圓、アパート、下宿等にゐる者で五十八九圓ですが

◎…交通費三圓から六、七圓書籍文具代が七、八圓から二十圓位その他小遣ひが十五圓か二十圓と豫定すると、現在の五十圓から六、七十圓の平均額にぐんと上つて六十圓から七十五圓位が普通といふことになります

…止宿先の選擇　こゝで親御さんにも學生にも注意を喚起したいのは宿所の問題で、親戚、知人があればなるべくその方々にあづけるか適當な監督を依賴して素人下宿をえらべば無軌道な方向をとるのを未然に防ぐことができませう　下宿屋とか便利にできてゐるアパートを利用する方が相當數に上つてゐますが

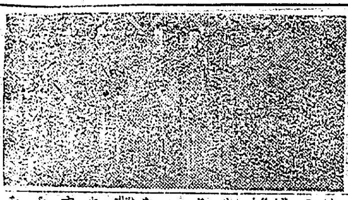
◎…昨年の東大の生活調査では總數の約五パーセントがアパート居住でしたが、他の學校も大同小異と思はれます

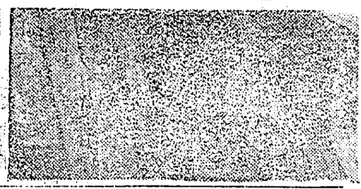
◎…アパートには種々雜多な職業の人々が生活してをりますし、他人が何をしやうがお構ひなしといつた利己的な、同時に[illegible]的なところがあつて學生の生活をするには不適當だと思はれます

スフは果して洗つて弱いか

スフも洗ひ方では丈夫だ

——洗料と洗ひ方を研究せよ——





スフや人絹が實用に適しないと一般に云はれて、いろいろと其欠點が論議されてゐますが、成程スフ人絹は純粹の木綿や絹に比べて弱いと云ふことには誰れでも異議はないが、然し現在の國策上、これを使用しなければならない、この支那事變の重大な時局に於ては、スフ人絹も文句なしに使用しなければなりません、が而し洗濯が出來ないとか、洗濯するとボロボロになるとか云ふことが、一番多く非難される點であるやうに思はれます、これはスフや人絹に對する知識の不足から起ることで、その性質上水に對して弱いものを、純粹の木綿や絹を同樣な方法で、永く水に浸したり、揉でゴシゴシと擦つたりしてはボロボロになつたり弱くなるのは當然であります。

洗料の選擇

そこで、スフや人絹類に毛糸毛織物等を洗濯するには、先づ洗料の選擇が大切です。どんなに洗濯の仕方が合理的であつても、洗料即ち洗濯劑が惡ければ、布地を傷めたり、縮じたりするから、洗料の選擇が第一條件であります。ニツサン洗劑の原料は、鯨の油と椰子の油から抽出した脂肪族性高級アルコールを原料としたもので、至極經濟に洗濯が出來て、而もスフ・人絹・毛糸・毛織物等の生地を少しも傷めないと云ふ專賣特許の優秀品であります。

素晴しい滲透力

凡て洗料となる洗濯液には充分な滲透性が無くては、洗濯效果は得られません。ニツサン洗劑の滲透力は原料の關係から非常に强く布地に浸み透つて汚垢を吸收し、洗濯液の働きを完全に達成するので、汚垢は容易く落ちて、頗る手早く洗濯することが出來て、而も生地を傷めたり、染色を變へたりしません。

驚くべき起泡力

[illegible]の大きいことも、またこの洗劑の特徵の一つで、驚くべき泡立ちがよく、汚垢はその泡に包まれて完全に乳化してしまふので、それこそ見違へる程綺麗に洗濯されるのであります、どんなに優良な洗劑でも、泡立ちが惡ければ汚垢は完全に落ちるものでないから泡立ち即ち起泡力の大きいことは充分洗濯効果を擧げることになります。

頗る強大な洗滌力

滲透力と起泡力の强大と共にその結果として洗滌力も頗る强大で、短時間内に完全に汚垢を綺麗に洗ひ落します、而もニツサン洗劑の洗滌力は、强いばかりでなく、泡が立つ間は、洗濯液が汚れてゐても、何度もその儘に洗濯液が使へるので、頗る經濟であります、これは他の洗料には絶對に無い特徵であります。

合理的な洗濯法

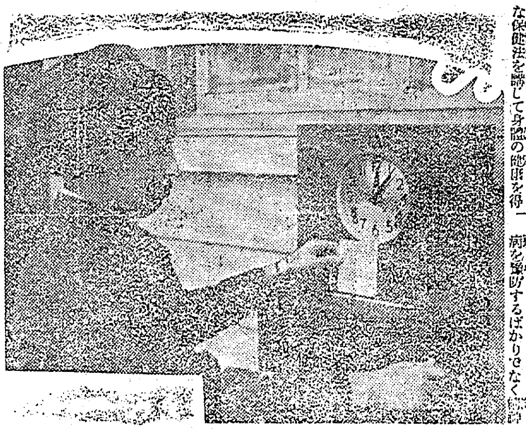
スフ・人絹・毛糸・毛織物等は、成るべく手早く洗ふことが肝要で、ニツサン洗劑は此點に於て、極めて理想的に手輕く洗濯されるが、合理的の洗濯法としては、先づニツサン洗劑を大匙一杯、コップに入れて熱いお湯を注ぐと、直ぐ溶けるから、これを約二升位の微温の水に入れると、それで洗濯液が出來るのであります、これが丁度洗濯物一枚分の洗濯液の分量で、洗濯物が多い時はこの割合で、多量に液を作るのであります、而し洗濯物の汚垢が非度いからと云つて、液を濃く作る必要はありません、また汚垢が少いと云つて液を薄く作つてもいけません、凡て洗濯液は一定の濃度を保つてゐると云ふことが、洗濯の秘訣です、そしてこの液に洗濯物を浸ける前に、必ず輕く水洗ひすることを忘れてはなりません、先づ水洗ひして輕く絞つて後、洗濯液へ浸けるのですが、斯うすると水だけで落ちる汚垢は落ちると共に、洗濯液が餘計に汚垢に浸み込まないので、洗濯液の經濟ともなります、洗濯液に浸したならば、決して揉んだり、擦つたりしないで、まして洗濯板を使ふなどしないで、輕く押し洗ひします。そで、それで充分洗濯液に完全に汚垢は落ちます、それから水洗ひして液をよく絞ると、白い生地は新しいやうに白く、染色物は染色が鮮る程に洗はれるのであります。

◇洗髮にも是非ニツサン洗劑を

洗濯は勿論、婦人の毛髮を洗ふにも最適で、毛糸も毛髮を傷めず、さらりと汚垢を落して、色艶を良くし心地よい[illegible]かなので理想的の洗髮料です

職業婦人の疲勞回復法

「新しい元氣で働ける樣」



○…最近女性の社會的進出はすばらしいものですが、思想界においても普通の職業戰線上においても、ほとんど男性と變りないまでに能率をあげてゐる樣に見うけます、それで職業に從事しながらも適當な保健法を講して身體の健康を得なければなりません、[illegible]その疲勞恢復のことを申しますと一般に第一には、睡眠を十分にとることです

○……夜更しは大禁物で、殊に起床と就寢の時間をハツキリと定めて勵行する事です、この睡眠をとることは精神勞務・肉體勞働どちらもきわめて必要です

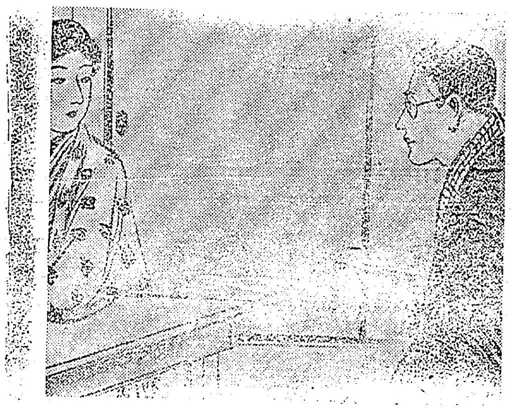
晝休みのある時はなるべく戸外に出ることです、これは呼吸器病を豫防するばかりでなく精神の疲勞を恢復し樹木によつて眼の疲れをも癒します、この時間に午睡するのもよろしい、ねむれなければ安臥する事です

暴風地帶

横井北道作

第十三回

傷心（三）



「都會でも映畫でも、さうですね　省三さんは口數のすくない性質だから、映畫の方がいゝかも知れませんねえ。映畫、人氣を得られますよ。僕は貴女が映畫俳優になつて、その明暗をスクリーンに映したすがたのことを考へると、たまらなく嬉しいですよ。數百萬のファン貴女の出現を熱狂の眼を以て迎へるでせう。そして熱狂的な喝采を浴びるでせう。[illegible]だからね」

省三は浮くやうなお世辭をならべ立てる省三を、澄子は[illegible]せずにはゐられなかつた。

だが、こんな図々しい男に相手になつて居たのでは仕方がないと思つた。

默殺——

只默殺あるのみ。

彼女はわきの方をむいて、何處吹く風と云つた風に装ふてゐた。

勿論、彼の言葉に相槌を打ちなどはしなかつた。

省三は澄子の心の中を察することが出來なかつた。

むしろ、彼女のさうした態度を反對な意味にとつてゐた。彼女が羞心しそれでそつぽをむき又默殺してゐるのだ——といふ風に……

だから、彼はますます圖に乘つて行つた。

——澄子は俺の言葉によつて大分動かされてゐるぞ。此分なれば彼女を立派に仕立て上ることが出來るかも知れない——。

そして彼の腦裡には、澄子を女優にしてからの光景がいとも鮮かに描き出されて行つた。自分はすみ子を映畫界へ連れ込んだ恩人なのだ。

彼女の名聲が揚がると共に、自分も脚本家として有名になつて來る。自分の劇作をいつもすみ子が主演する。その時、彼は脚本家であり又監督としても盛名をはせるやうになる。新劇團の主宰者省三氏苦心の新作などゝ銘打つてすみ子を主演させた映畫が東京一流館で封切される。

悠々と云つた幻想が省三の腦裡をしきりに往來してゐる。

彼は何時か現實と夢幻の境とが、ハツキリしなくなつた。

眼の前にゐるすみ子の姿……それが、彼の監督してゐる映畫の一シーンであるかのやうにさへ思はれて來た。

——何といふ愁ひを含んだ瞳だ

さうして物思ひに沈んだ[illegible]な瞳の表情さ。さうだ。そこへ戀人がやつて來るのだ。そして、お、いとしの君よ！と云ひながら彼女の肩へ手をかけるのだ。

省三はさう思ひながら、澄子の傍へ寄り添ふと、彼女の肩へ手をかける。と、その瞬間！パッと立上つたすみ子

「な、何をなさるんです！行つて下さい。出て行つて下さい。すぐ出て行つてください！失禮な！」

悲痛な叫び聲を擧げて、省三に退去を命ずるのだつた。

省三は、氣拔けした風船玉みたいに、ぽかんとすみ子の顏を見あげた。

「出て行つて下さい！すぐ出て行つて下さい」

すみ子は、聲をはずませて云つた。

悲痛と怒りが交錯した[illegible]だ。

省三は漸く我にかへることが出來た。

夏物は！
是非當店から
（在庫豐富）

平屋洋品店
平・田町通電話六五六番

保險は
帝國へ!!
帝國生命
平中央代理店
◎御報次第社員參上

他店で御氣に召さぬ時は是非一度
——常磐線東京仙臺間であらゆるクリーニング機械設備の揃つている——
純ドライクリーニング
西洋洗・濯
田町　白榮舍ランドリー
正直なる仕事と優秀なる技術を望まるゝ方は？
是非！設備平市第一の
白榮舍ランドリーへ

男女　車掌募集　數名
年齡16……19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四〇・三四三

開院
外科一般　內臟外科
整形外科　肛門病科
性病科　レントゲン科
平市南町（平郵便局本局裏通り）
上田外科醫院
院長　上田耕作
電話一九二番

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奬め致します
入會隨時
喜多流 謠曲 仕舞　白土會
平市田町六九
電話一二七番

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

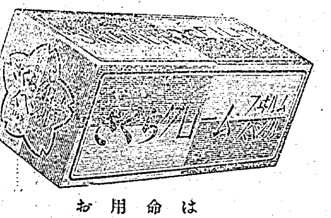
花柳病科外科
本村外科醫院
平市南町（警察署通り角）電話三〇九番

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タヒラ・ギンザ通り
グリル　バツカス
電七〇二番

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電話六七四番

病室增築、手術室完備
醫學博士
產科婦人科
五十嵐雄二
平市新川町　電話三六九番

カメラ用品と
現像引受



お用命は
西村屋藥局寫眞部
平2・電3

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）

◎國民擧つて
防火塗裝を！
□危險に暴露する木造家屋
□手輕るに出來る防火家屋
□太陽無機コロイド防火塗料の特長
1、太陽無機コロイド塗料は殆んど絶對の防火力を有す
2、粘着力が非常に強く木材によく密着します
3、既設家屋に自由に施工が出來ます
4、刷毛にて簡單に施工が出來ます
5、價格が低廉で經濟的です
6、塗面が汚れた時には水洗ひすると直ぐ綺麗になります
7、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御證明下さいました
□大量使用御考慮の方及び團体的御申込みへは實驗の御希望に應じます
太陽無機コロイド販賣店
カタログ進呈
山田文一商店
平市仲町通り
電話二六二番

內臟外科
レントゲン科
泌尿器科
北川外科
入院隨意
平市新川町（電話四六四番）
醫學博士　北川芳夫